校長室の窓

平成２８年９月２０日
第１１号

運動会だ！

　オリンピックに続き、パラリンピックも閉幕しました。
「今大会で日本勢は、金メダルを獲得することはできませんでした。」アナウンサーが残念そうに伝えていました。思わず「２位じゃだめなんですか？」とテレビに向かってつぶやきました。よくよく聞けば、来るべき東京オリンピックに向けて、障害をもつ選手に国を挙げて支援すべしということでした。ごもっともです。
　テレビに映されるアスリートの盛り上がる筋肉を見ると、リオに至るまでの並々ならぬ練習と強い意志がうかがえます。
「病める者は休め 弱き者は歩け 健やかな者は走れ 強き者は競争せよ。」私の母校の高校では持久走大会があり、当時の校長先生が大会のたびに繰り返しおっしゃった言葉です。（ちなみに、校長先生も生徒に混じって練習し、大会にも参加されました。）パラリンピックの選手たちは間違いなく「強き者」だと、あの校長先生もおっしゃるに違いありません。障害を個性として踏まえた上で、できる部分を極限まで高め、それぞれ国内の選考を勝ち抜いた結果、彼らはリオにいます。

「ナンバーワンにならなくてもいい」という歌が、１位になったと我が家のテレビが伝えています。もちろん、正則の子一人一人はオンリーワンです。でも、運動会では自分のできることでナンバーワンをめざしてほしいと願っています。走ることが得意な子は、徒競走やリレーで。ダンスが得意な子は、表現運動で。行進が得意な子は入場や退場の行進で。声をしっかり出せる子は、歌や応援で。徒競走でも、オリンピックでも、みんなが金メダルをもらえるわけではありませんが、そこに向かって全力を尽くす姿は尊いと思います。ゴーゴーゴー、赤、赤、赤！白、白、白、ゴーゴーゴー！

　いよいよ運動会です。
　台風一過、立秋にふさわしい秋の空になってくれることでしょう。